

Q20

中学校生活に不安がある子にかかわる 小学校と中学校との連携は？

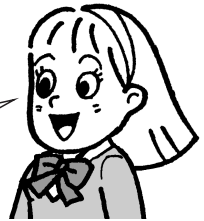
まずは
ここから



- 小学校の授業参観や懇談会を通して，情報を得ます。
- 教科担任の支援の在り方等を共通のものとしします。

小学校では学習への不安から学校を休みがちだったサオリさん。不安が強い時や教科の個別指導が必要な時は，情緒障害自律学級で指導を受けていました。

中学校へ行ったら毎日みんなと同じクラスと一緒に勉強したいな。
でも，授業が難しそうで，ついていけるか心配だな。



サオリさんが，中学校の生活にスムーズに移行できるように，小学校と中学校が行った連携について，紹介します。

小学校

サオリさんの中学校での生活の不安

小・中連絡会での支援情報の伝達

- 小学校における学習や生活の困難点を伝えました。

小学校の原学級担任と情緒障害自律学級担任

情報
提供

- ・長期欠席の理由
- ・趣味や特技
- ・友人関係
- ・学力
- 等

中学校の就学指導係

中学校担当者による小学校の授業参観と個別懇談の実施

- 授業参観の後，自律学級の担任と中学校の担当者は，サオリさん
を交えて中学校生活の話をしました。その中で，サオリさんの不安
な思いについても話し合いをしました。

スムーズな移行に向けた配慮

中学校

サオリさんの中学進学に向けた安心感

- 年度当初の職員会での
共通理解と対応の検討

- 各教科における
個別の学習支援



【キーポイント】 中学校進学に当たって，情緒面での不安が大きい場合，小・中学校
が互いに訪問し合うだけでなく，子どもと直接話し合う機会をもつことが，不安解消に
役立つ場合があります。

● 中学校入学前の連携

小・中連絡会で、小学校の担任（原学級と自律学級）から連絡をしました。

- 通常の学級での生活を目標にしている。
- 学習への不安から学校を長期欠席したことがある。
- 困ったとき、気心の知れた人なら、相談できる。

中学校側は、学習への不安な気持ちに早めに対処できれば、通常の学級での生活が可能だと考えました。

そこで、サオリさんの相談窓口をつくり、共通理解を図るための打ち合わせを年度当初の職員会で行いました。

事前の個別懇談と相談窓口づくり

集団内での学習の様子を知るため、中学校の自律教育コーディネーターが通常の学級での授業を参観しました。

個別相談も行い、中学校生活への希望や不安を聴くと、特定の教科への不安が強いことが分かりました。そこで、中学校の様子を知らせるとともに、相談できる人（担任・自律学級担任・心の教室相談員・スクールカウンセラー等）がいることを説明しました。

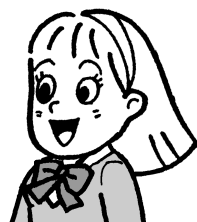
入学式でも、相談窓口となった教員が、サオリさんに声を掛け、関係づくりをしました。

中学校教職員の理解と協力体制

授業参観や個別懇談から得たサオリさんの様子を職員会で話題にしました。自分から不安を訴えることができないので、授業中には表情の変化や行動に注意して見るようにし、気付いたことは学級担任に連絡するように全教職員に依頼しました。

学級編制では、小学校の同じクラスで仲の良かった子と同じクラスにしました。

安心できたよ。
中学校生活が楽しみだな！



中学校の勉強は難しいな。
先生、国語の時間に困ってしまいました。相談にのってください。

安心して中学校に入学したサオリさんですが、学習ではつまづきがでてきました。そんなとき、相談窓口をつくってあったので、早速相談をすることができました。

● 中学校入学後の支援

自己紹介文を書く単元で、内容の決め出しに困ってしまったサオリさんは、教科担任と相談の上、個別に対応できる時間を準備してもらい、書き上げるところまで個別の支援を受けることにしました。

教師がインタビューし、サオリさんがメモをとりながら、内容を考えました。書きたいことがなかなか決められなかったサオリさんでしたが、メモを見ながら友だちに伝えたいことを選び、作文を書き上げることができました。

通常の学級での授業に戻った時は、グループ内で発表の代表者に選ばれ、全員の前で発表できました。自信がもてたサオリさんは通常の学級で生活を続け、部活動や生徒会活動などの集団活動へも積極的に参加しています。